

## 環境配慮についての目標及び実施計画

2006年度環境目標及び実施計画

実施内容の難易度 : A すぐできる B やや難 C 難

事項	項目	環境配慮についての目標	2006年度環境目標	実施計画	難易度
環境配慮への取組体制等	環境管理システムの確立	環境管理システム体制の充実を図る。	ユニットの体制強化及びユニット構成員への周知徹底	環境方針の周知 環境管理システム機能の充実 ユニット毎の取組強化	A B B
	総エネルギー投入量及び削減	電気・重油・都市ガスなどエネルギーの使用量を中期計画に於いて、平成15年度比6%削減を目標とする。	エネルギーの使用量を対前年度比1%削減を目標とする。	【共通事項】 ポスタ・及びシールによる節電・節水の呼びかけ エレベータの適正使用を図る（階段利用の促進） 光熱量等の調査報告を定期的に行い省エネルギー・活動を呼び掛ける 定時退庁の普及及び昼休み消灯を完全実施 空調機の運転時間及び室温設定の見直し（原則時間外の運転禁止）、フィルタ等の定期的な清掃  【電気】 OA機器の効率的な運用、見直し 省電力装置及びデマンド制御装置の導入促進 自動消灯装置の導入普及  【重油】 暖房運転期間及び時間の見直し  【都市ガス】 湯沸器の設定温度の見直し	A A A B C  C C B  C  A
	水資源投入量及び削減	水道の使用量を中期計画に於いて、平成15年度比6%削減を目標とする。	水道の使用量を対前年度比1%削減を目標とする。  漏水調査を実施する。	実験機器等の冷却水・洗浄水の実態把握及び改善  漏水箇所の早期発見・早期修繕	B  C
環境負荷状況	総物質投入量及び削減	用紙類の有効活用を図る。	用紙の両面使用を推進する。 再生紙の使用を推進する。	リサイクルボックスの設置普及 封筒の再利用の促進 用紙の裏面活用を徹底 両面プリンタの導入促進	A A B C
	温室効果ガス等の大気への排出量及び削減	CO <sub>2</sub> 排出量を中期計画に於いて、平成15年度比6%削減を目標とする。	CO <sub>2</sub> 排出量を対前年度比1%削減を目標とする。	空調機の運転時間及び室温設定の見直し（原則時間外の運転禁止）  暖房運転期間及び時間の見直し	B  C
	化学物質排出量及び管理状況	化学物質の適正な管理に努める。	化学物質の効率的管理を促進する。	薬品の管理支援システム導入を促進する。	B
	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及び削減	廃棄物の発生抑制、リユース・リサイクルの促進を図る。	廃棄物の分別を徹底する。	プリンタのトナカ・トリッジの回収とリサイクルを推進  廃棄物の分別回収の見直し	A  B
			リデュース・リユース・リサイクルの促進	リデュース・リユース・リサイクルの推進によるゴミの減量化  不用となつた図書を焼却処分せず、必要とされる図書館に譲渡する。	B  B

事項	項目	環境配慮についての目標	2006年度環境目標	実施計画	難易度
環境 負 荷 状 況	総排水量及び削減	排水の適正な管理を促進する。	排出水の管理の徹底	排出水分析値の確認・管理 食堂排水のグリストラップ清掃の強化	B B
	グリーン購入の状況及び推進	環境配慮型製品を優先的に購入する「グリーン購入」を進める。	岩手大学グリーン調達方針に基づく調達を行う。	電子掲示板を利用して、岩手大学における「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を職員に周知徹底 エコマ・ク・グリ・ンマ・ク商品を優先的に購入	A B
	環境負荷削減と経済効果	省エネルギーの推進を積極的に図る。	省エネ設備の導入を図りエネルギー削減に努める。 環境負荷を削減する方策を推進する。	省エネルギー設備の導入促進による電気使用量の削減 トップランナ - 方式による電気冷蔵庫の見直し ゴミの分別化処理の促進による経費の削減	C C C
	緑豊かなキャンパスづくり	学内環境整備の促進	各学部等で行っていた樹木の剪定を全学的に行う。 環境整備で集まった落ち葉等は積極的に堆肥化を推進する。	落ち葉や剪定の際に発生した枝の堆肥化を推進する。	B
環境 関 連 の 教 育 ・ 研 究 に 関 する 情 報 提 供	環境教育	大学・大学院における環境教育・学習を推進する。	環境教育・学習の推進 「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を大学教育に織り込む。	環境に関する図書の実践 教養教育と専門教育をESDで融合し、複合的な人類的諸課題に専門性を活かす人材養成のための全学的副専攻を推進する。	B B
		附属中学校、小学校、幼稚園、養護学校と連携した環境プログラムを定着させる。	附属小学校では、身近な自然や生き物と触れ合う活動に全校で取り組み、「総合的な学習の時間」で自然観察や地球温暖化の学習を通して環境について学ぶ場を創出。 環境への配慮と地域との連携強化のため、新聞や段ボール箱を地域の子供会に提供する。 附属養護学校では作業学習を通して環境教育に取り組む場を創出。 附属幼稚園では園児に環境についての関心を持たせる活動を行う。	附属小学校では、総合的な学習として4年生の「守ろう私たちの盛岡」を今年も実施する。また、中津川での調査を発展させ6年生の「とことん研究 - 卒業研究」でグローバルな視点から環境等の研究にも取り組む。 附属中学校では、社会科学研究部の活動として、「岩手の名水20選」の水質調査を実施し、その結果を文化祭で全校に発表し、環境への意識を高める。 附属養護学校では、給食の廃油と残飯を利用した石けんの製作、腐葉土作り、牛乳パックからの手漉き和紙作り、廃材利用の鉢カバー作りの作業学習を通して環境教育に取り組む。 園庭の自然環境を生かし、身近な昆虫や植物に親しませ、飼育や栽培等を通して、命の大切さを学ぶとともに、生き物が生活しやすい環境について関心をもたせる。	A A A A
	学生等の環境への取り組み	学生による自主的な環境活動の促進	キャンパスクリーンサポーター制度の推進 学生の自主的活動支援事業(レッツビギンプロジェクト)の支援を行う。	キャンパスクリーンサポーターとして学生がゴミ拾い、落ち葉拾い等の清掃活動を推進する。 大学祭で使用される食器としてリユ - ス食器の活用やリユ - ス市の開催などを行い、環境保護や資源の有効活用を図る。 学生が地域の子どもに対し、豊かな自然を教材とした水質調査など、環境教育のきっかけづくりを行う。 「Hondaエコノパワ - 燃費競技全国大会」での完走を目指してマシンを開発し、1リットルのガソリンで何km走行できるかに挑戦する。 自然環境保全のため、地元農家や自治体と連携し、ため池・土水路・小区画水田保全活動を行う。 エネルギーや環境に関する教材を開発し、その教材を活用した理科教室等を開催して子ども達に環境教育を行う。	A A A A B B
	環境に関する研究の取組み	大学における環境関係の研究を充実する。	環境関係の研究に関する情報の提供に努める。	環境に関連する研究等 アルカリ抽出物-活性炭複合体を調製し、重金属吸着能を測定する 水田地帯に生息するメダカの生態研究と保全への取り組み 産業廃棄物をミミズにより資源化し、有用物質を作成する 大船渡産の牡蠣殻を再利用した環境浄化とその実用化への研究	A A A A

事項	項目	環境配慮についての目標	2006年度環境目標	実施計画	難易度
環境関連の教育・研究に関する情報提供	環境に関する研究の取組み	大学における環境関係の研究を充実する。	環境関係の研究に関する情報の提供に努める。	北東北三大学連携プロジェクト「青森・岩手県境および秋田県能代地区不法投棄廃棄物の処理とリサイクルに関する研究 岩手の特質を活かした地域連携型エネルギー環境教育プログラムの策定とその実践	B B
	環境コミュニケーション	地域における環境関連の事業等への積極的な参加を行う。	地域における環境コミュニケーションを図る。  学内での環境コミュニケーションを図る。  学内にグリーンアドベンチャー(植物探索)を設置する。	外部委員会等への積極的な参加 公開講座、講演等  社団法人青少年交友協会とグリーンアドベンチャー設置に向け取り組む	A A A
	構内事業者の取組み	大学生協としての環境管理システムを構築する。	環境に配慮した取組み活動を実施する。  「IES いわて環境マネジメントシステム」の認証取得に向けた取組みを行う。	ゴミの分別回収を継続実施する。 生協オリジナル弁当容器としてリサイクル容器を使用し、回収する。 グリーン購入法適合商品の積極的購入 食器洗浄剤は環境に配慮し「苛性分リン」を含まない洗剤に限定して使用を徹底する。  割り箸の100%回収とファイバー箸の活用を図る。  無洗米を使用することにより、環境に配慮する。 カット野菜の活用することでゴミの減量化を推進する。  岩手版ISO14001である「IES いわて環境マネジメントシステム(ステップ2)」の認証取得に向けた取組みを行う。	A A A A A A C
	放置自転車の処分と有効活用	放置自転車を削減し、効率的な管理体制を構築する。	全学での放置自転車の実態調査と処分を行う。	放置自転車削減への呼びかけ 放置自転車の実態調査を行い、リサイクル及び廃棄処分を実施	A B
	禁煙対策	分煙環境の整備と施設利用者への周知徹底により受動禁煙を防止する。  2008年4月より構内全面禁煙とする。	学内全面禁煙に向けて学生・職員の禁煙指導・支援活動を行う。	禁煙ポスター等により職員・学生に周知 喫煙所案内表示の整備 受動喫煙の害についての教育 定期巡視 歩行喫煙調査 「大学構内の敷地内全面禁煙まであと」カウンタダウソ掲示板の設置及び表示の更新	A A A A A
	地域社会との関わり	地域社会の主体的な参加  地域社会への情報公開	地域社会の意見を反映させるためのルートを整備する。  岩手大学の環境への取組みについて地域社会に発信する。	ホームページでの情報公開  資源ごみ用ストックヤードの設置について検討	A A